

SHIMANO KEIRYU ROD**渓流竿
取扱説明書**

このたびは、シマノカーボンロッドをご購入いただき、まことにありがとうございます。
いかにも軽くて丈夫なロッドでも、
乱暴な取り扱いは、竿を傷めてしまいます。
釣り人にとって、竿は大切な体の一部。
この説明書をお読みの上、永く、
ご愛用いただけますよう、お願い申しあげます。

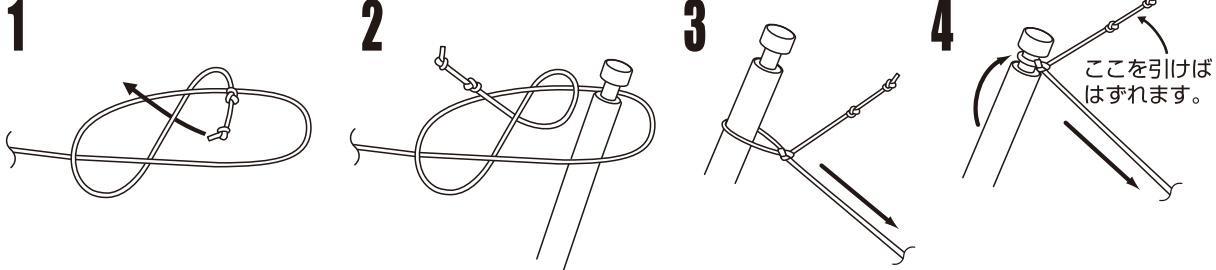
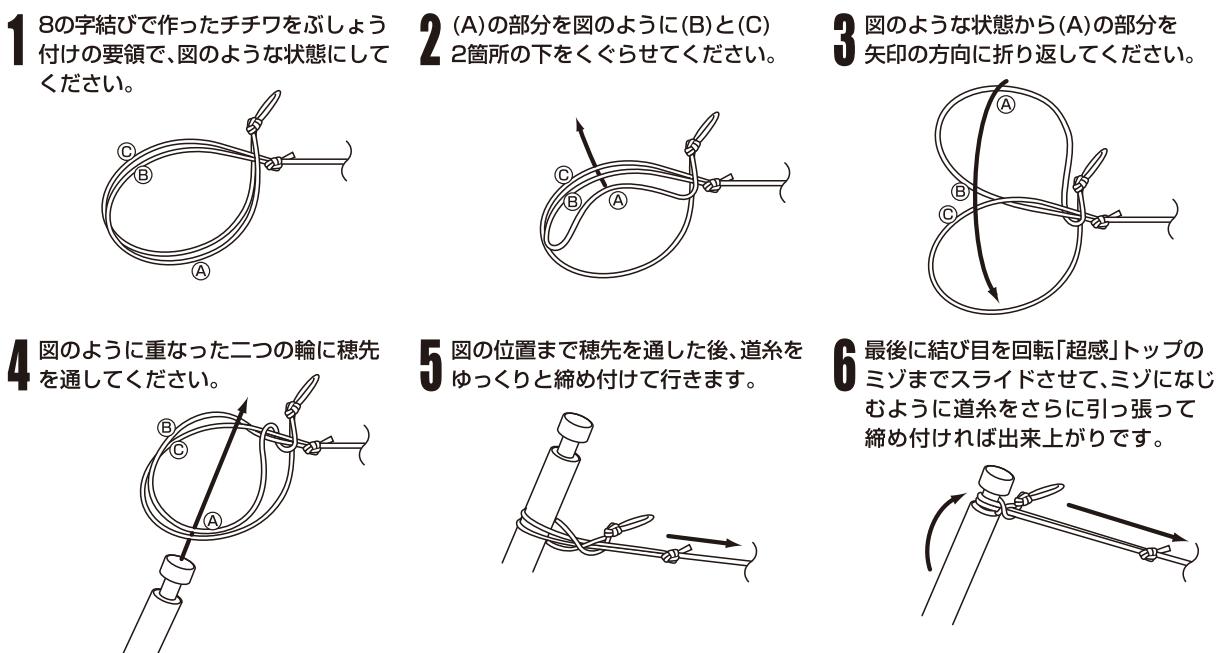
SHIMANO**回転「超感」トップへの糸の取り付け方**

■天井糸は、ナイロン糸、フロロカーボン糸の0.6~1.5号を竿の性格に合せてご使用ください。

■取り付け方法は「Bの字なげなわ結び」「半ヒネリぶしょく付け」などご使用ください。

■回転「超感」トップへの糸を取り付けるときは、金属部を持つようにしてください。シリッド穂先や細いチューブラ穂先の場合は特に注意してください。

■天井糸の取り付けは、軽く直角方向に引っ張った後、穂先と一緒になるようにまっすぐ引っ張って締めてください。穂先と直角方向に強く引っ張りすぎると回転「超感」トップが曲がる場合があります。

◆Bの字なげなわ結び**◆半ヒネリぶしょく付け****修理部品に関するお願い**

バーツを注文される際には必ず商品名と商品コードをお知らせください。

弊社で修理部品を商品コード番号によって分類しています。
弊社交換など自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、本体裏面、パッケージのラベル等に記載されています。

商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。
●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

商品コード番号は、数字の5桁になります。

(例) CODE No.12345

**■釣行後のお手入れもお忘れなく**

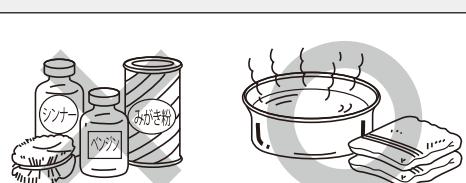
■竿の使用後、濡れたまま放置・保管しないでください。次に使う際、節が固着する恐れがあります。

節を一本ずつ抜いて陰干しで乾かしてから保管してください。

■竿の使用後は竿を仕舞った状態で戻し栓を外し、先端から水を流し入れて砂やゴミを洗い流してください。次に竿を濡らすまでやさしく洗い流してください。

■竿が濡れたまま収納しておいたり、高温多湿状態や密閉状態で置いておくと、塗装部に水ぶくれや気泡ができることがありますので、保管には十分ご注意願います。

■タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けさせてください。



車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。



■高温・密閉状態での長期間放置は、竿の変形など大きなトラブルのもとになります。上記の要領で手入れしたあとは、風通しの良い場所にしまってください。

■竿の合わせ部に市販のロッドクリーナーやワックスを塗ることは、絶対にしないでください。固着の原因になる恐れがあります。

■竿の使用後は、柔らかい布等でやさしくふき取ってください。落ちにくい汚れは、真水又はぬるま湯で丁寧に洗った後、乾いた布でやさしくふき取ってください。また、砂粒等が付着している場合も、必ず洗い流してください。

■洗浄後は、風通しのよいところで陰干しをしてください。

■竿の表面を砂等で強くこすりますと、塗装の種類によっては落ちはが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承ください。

■また、衣服等に色がつく場合がありますのでご注意ください。

■安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。**危険**

高圧線への接近による放電や電気、さらには雷による落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ビニールや樹脂を感じるのはそのためです。天候の変化等により危険性を伴いますので、そうした場合での避難はお避けください。竿や竿の素材特性上、電気を多く含んでいます。特に竿の先端等に接触した場合は、竿を折損して刃物等の危険な物になります。釣り場を移動する場合は竿をたたみ、高張力線・鉄塔等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

電線による感電 頭部による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに竿から離れ、安全な場所に避難してください。雷の発生がないとも、釣竿が電気を感じるようなときも同時に、ただちに竿から離れ、安全な場所に避難してください。釣竿以外の電線による感電 釣竿以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

警告

キャスティング(投げる)時の注意 キャスティング(投げる)の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。斜面などにささかづくと竿が抜けてしまうかもしれません。ガイドの変形や外止部の破損の原因になり、手首に怪我を負う場合があります。

根掛かりのリスク 根掛かりの中、竿上で他の竿等に掛けられず安全に立てることが出来ない状態になった時は、無理に竿を抜き出さないで、手を握りながら、竿を手に持って引き抜いてください。それをするとおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、そのままにして引き抜いて余計な怪我を防ぐことができます。

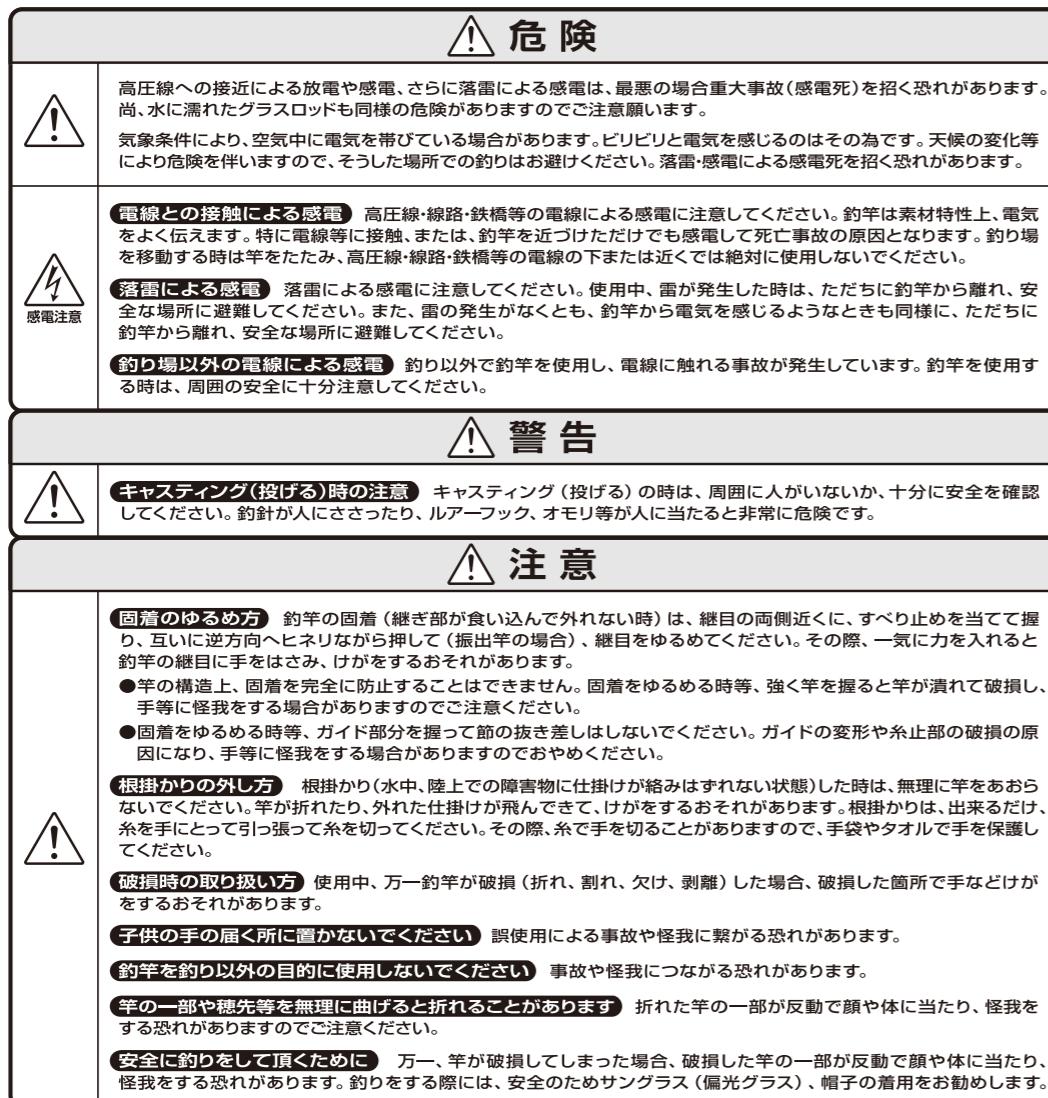
根掛かりによる感電 頭部を完全に防止することはできません。固定をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が滑れて破損し、手神に怪我をする場合がありますので、注意してください。

竿頭をもつる時等、ガイド部分を握って竿を抜き差ししないでください。ガイドの変形や外止部の破損の原因になり、手首に怪我を負う場合があります。

根掛かりのリスク 根掛かりの中、竿上で他の竿等に掛けられず安全に立てることが出来ない状態になった時は、無理に竿を抜き出さないで、手を握りながら、竿を手に持って引き抜いてください。

竿頭をもつる時等、ガイド部分を握って竿を抜き差ししないでください。ガイドの変形や外止部の破損の原因になり、手首に怪我を負う場合があります。

竿頭をもつる時等、ガイド部分を握って竿を抜き差ししないでください。ガイドの変

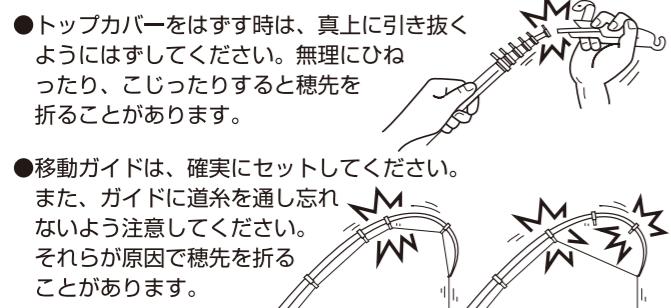


*本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがないようにお願いします。尚、印刷されている機種もあります。

フィッシングロッド取扱い上の注意

使用上のご注意

ガイド付き振出し竿の場合……



●糸ガラミしたままで道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることができます。

ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合……

●竿を継いで伸ばす際、前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行ってください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

●フルキャストを繰り返す場合、定期的にロッド継ぎ部の合わせ具合をご確認ください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

●竿を継いで伸ばしたり、あるいは仕舞う際に、ガイド部を持つて捻じったりしないでください。ガイドの破損、ガイドの変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。

ロッドホルダー、ロッドクランプを取り付ける場合……

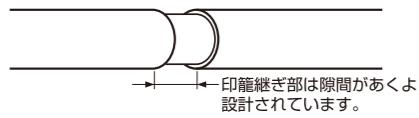
かかり竿・船竿については、金属製ロッドホルダー及び金属製ロッドクランプの使用時において強い締付けを行ないますと、締付け部（素材等）の破損が生じる恐れがあります。

この様な破損による損害について当社としては補償しかねますのであらかじめ御了承ください。

スピゴットフェルール（印籠継ぎ）の場合……

スピゴットフェルール（印籠継ぎ）部は隙間があくように設計されています。これは季節や環境の変化による合わせ部の膨張、収縮と磨耗に対応するためのものです。充分強度を持たせており使用上の問題はありませんので安心してお使いください。

無理矢理差し込んだりすると口割れをおこしたり、ぬけなくなる恐れがありますので、必要以上に差し込まないでください。



ズームロッド操作時の注意……

グリップ部とズーム部には段差があります。ここを握って急激にズームインすると、手を挟む場合がありますのでご注意ください。

ガイドなし竿の場合……

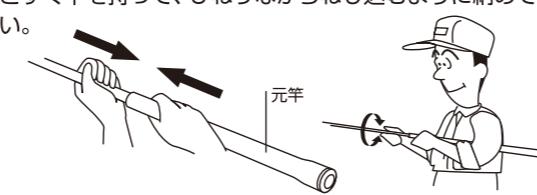
●上栓をはずす時は、真上に引き抜くようにはさむください。無理にひねったり、こじったりすると玉口部分を傷つけることがあります。



●糸ガラミしたままで使用しないでください。また、取り込みの時などは、無理によせたり垂直方向への引き抜きは、やめてください。竿の一部に無理な力がかかり破損の原因になります。

穂先、#2、#3 玉口折れにご注意……

●竿を仕舞うときは、手元から順次納めてください。穂先、2番、3番など細い部分を納める時は、元竿を脇にはさみ、継ぎ部のすぐ上とすぐ下を持って、ひねりながらねじ込むように納めてください。



この時、仕舞う節の継ぎ部付近をそれより太い節の玉口内側に当たらないように注意してください。玉口の端で細い節を傷める恐れがあります。仕舞う時に傷めると、次回釣行時に荷重がかかった際に破損する恐れがあります。

●竿尻を何かにあてがって押し込む場合は、何か柔らかい物の上に竿尻をあてがい、手元から順に一本ずつ納めてください。この時竿尻を水の中につけないようにしてください。

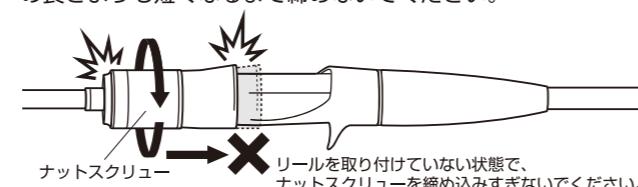
●仕舞寸法の長い竿を脇にはさんで伸ばしたり、仕舞ったりするときは、通常の竿よりも脇を中心とした回転方向の力が、かかりやすいので#2、#3の玉口を折らないようご注意ください。

ソリッド穂先に関する注意……

穂先に用いられるソリッド材料は、カーボン或いはグラス繊維が一方向のため、トップガイドなどを持って捺ると破損の恐れがあります。ガイドを持って捺らないでください。

リールシートに関する注意……

リールを取り付けていない状態で、ナットスクリューを締めすぎると破損する恐れがあります。フードの位置がリール脚の長さよりも短くなるまで締めないでください。



ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来のグラスロッドに比べ曲がりがどうしても目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

改造後の責任は負いかねます。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万の故障は全国のサービスネットへ

お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。

性能部品以外は製造中止6年以内でも供給できない可能性がございます。

SHIMANO FISHING ROD

フィッシングロッドを永くお使いいただくために

フィッシングロッド

取扱説明書

このたびは、シマノフィッシングロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

いかにも軽く丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。

釣り人にとって、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上末永く、

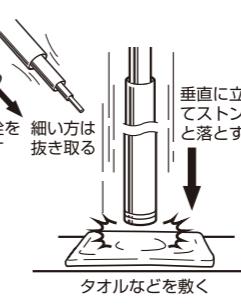
ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

SHIMANO

継ぎ目がとれにくくなった場合

ガイドなし振出し竿の場合……

固着したところより細い（穂先方向）部分を、まず抜き取ります。元竿の中に入り込んだロッドはそのままにして、板面等それほど硬くない水平な面に垂直に立てて持ちます。元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして、ストン、ストンと落とせば簡単に外れます。このとき、タオルや段ボールなどを敷いておけば、より安心です。



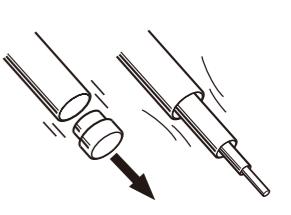
並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合……

すべり止めのゴムシートや輪ゴムを当てて、図のように2人で向きあい、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。



継ぎ目に砂が入った場合……

振出し竿は、元竿の下栓を外し、一本一本抜き出して、竿の内側をていねいに手入れしてください。ガイド付きの竿は、下栓を外し、よく水洗いをして砂を流したあと、風通しの良い場所に日陰干しをしてください。



いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力任せに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。上記のような要領で行ってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

その他のご注意

●竿が曲がる際に、糸巻き部の厚塗りが竿の曲がりに追従できず、ひびが入ることがあります。ガイドやリールシートの固定力には問題ありません。現在の生産技術上、ひび割れを防ぐことはできない状態です。あらかじめご了承ください。

●竿は一本一本、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますがご了承願います。

●釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落としたあと、水気をふき取ります。このあと、風通しの良い場所で、日陰干しをして、水気を完全にとってください。ロッド部はシリコンクロスなどで空ぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ（ブリスタ）や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。

車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。



高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。

タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとてください。

注）市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすりますと、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものの剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

修理部品に関するお願い

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。

穂先交換など自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書の付かない商品もあります。

商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。

修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。（例）CODE No.12345

